

編輯後記

◆歳こゝに改まり漸やく皆様に御目見榮する事を得ました。公私御多忙中玉稿を賜はりました諸先生に厚く御禮申上げます殊に特筆を振つて下さる管でした山川博士には、恩師田中智學先生御薨去の爲、殘念乍ら玉稿を賜はる事が出来ませんでした、後日御執筆下さるとの事です。

◆幹事の未經験と種々の障碍の爲、測らずも期日の遅延した事を幾重にも御詫び致します。

◆私達はたゞ「愛兒「棲神」」の成育に心を残しつつ召されて征つた前號の育親たる熊谷、米澤兩幹事に對して御安心あれ次號もこの様に立派に成長致しました。と云はんが爲に育ての親として自ら任じて参りました。

◆この重過ぎる大任を無事果させて下さいました部長今村先生室住先生及び中村先生、前庶務幹事下邨師、田村庶務幹事に萬腔の感謝を捧げると共に、試験前後に亘り校正の勞を煩はした池上君へ厚く御禮を申し上げます。

◆省みれば過去十ヶ月、その努力の大と完成の喜び！。すべてがたゞ涙溢れる尊い体験でした。

◆興亞の大業愈々拍車を加へつゝ迎へた皇紀は二千六百年、その壽ぎの序曲としてこの第廿五號を御贈り致します。

(杉山、中込)

昭和十五年二月二十日印刷
昭和十五年二月廿五日發行

編輯人

今

村

是

龍

發行人

杉

山

寶

淳

印刷人

青

柳

幸

雄

印刷所

芳

文

堂

印刷所

山梨縣南巨摩郡身延町

發行所 祖山學院同窓會文學部